

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称	会計事務費〔法定調書作成事務〕							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	会計管理費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	会計 課			出納 係	課長名	木村 西		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書(ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市議会議員、非常勤特別職、市が賃借する土地の所有者等の法定調書作成対象者 →			法定調書作成対象者数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 法定調書が必要な時期に取得できる。 →			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 作成枚数1,625枚 / 対象者1,625人				
③ そのために何をしましたか。 支払額や源泉所得税額をまとめ、法定調書作成後、対象者に送付。また、立川税務署及び各自治体に提出。 →			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 法定調書作成のための所要日数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	2,286	2,021	1,625		
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 必要な時期に対象者全員へ法定調書を送付する。								
活動指標		③の数値	日	60	60	60		
3 経費	事業費(実績)		円	108,656	110,028	113,629	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	108,656	110,028	113,629		
		特定財源	円	0	0	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.4	0.3		
		所要人数(再任用)	人	0	0	0		
職員人件費(再任用以外)		円	1,662,000	3,352,000	2,475,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	1,770,656	3,462,028	2,588,629			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 法令上送付が義務付けられていない所得税法第204条支払調書の対象者への送付について、合理化を図る。							
	5 今後の方向性 仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 所得税法第204条支払調書の対象者への送付について、合理化を検討する。							